

2023年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

2022年10月27日(木)

【名証メイン市場】証券コード:6111

 旭精機工業株式会社

売上高はプレス機械の売上が生産強化の取り組みの結果増加したものの、主に自動車業界の減産等の影響を受けた精密金属加工品の売上が減少した結果、前年同期比+ 1.1%の58億9千8百万円となりました。

()は前年同期比

精密金属加工品: 19億4千9百万円 (▲ 10.3%)

✓ 自動車業界の減産等の影響を受け、減少

小口径銃弾: 7億6千4百万円 (▲ 11.7%)

✓ 政府の予算執行を受け、減少

プレス機械: 27億9千1百万円 (+ 24.3%)

✓ 電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池缶製造用プレスの売上増により、増加

ばね機械: 1億8千6百万円 (▲ 14.6%)

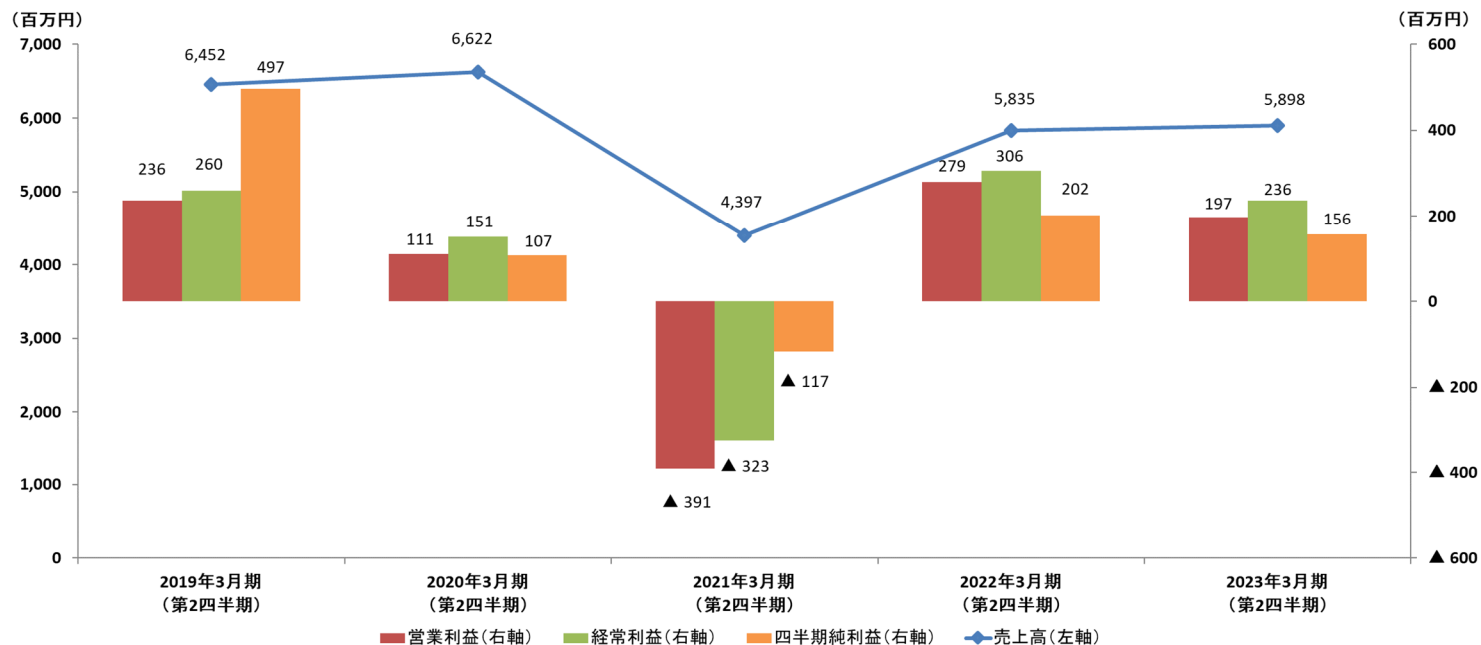
✓ 顧客からの受注が大型機を中心に回復しているものの、出荷に至らず減少

自動機・専用機: 1億8千5百万円 (▲ 14.1%)

✓ リードタイムの長い機種が多く、出荷に至らず減少

第2四半期の売上高・利益推移

(単位:百万円)	2019年3月期 (第2四半期)	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)	2022年3月期 (第2四半期)	2023年3月期 (第2四半期)
売上高	6,452	6,622	4,397	5,835	5,898
営業利益	236	111	▲ 391	279	197
経常利益	260	151	▲ 323	306	236
四半期純利益	497	107	▲ 117	202	156



第2四半期のセグメント別売上高推移

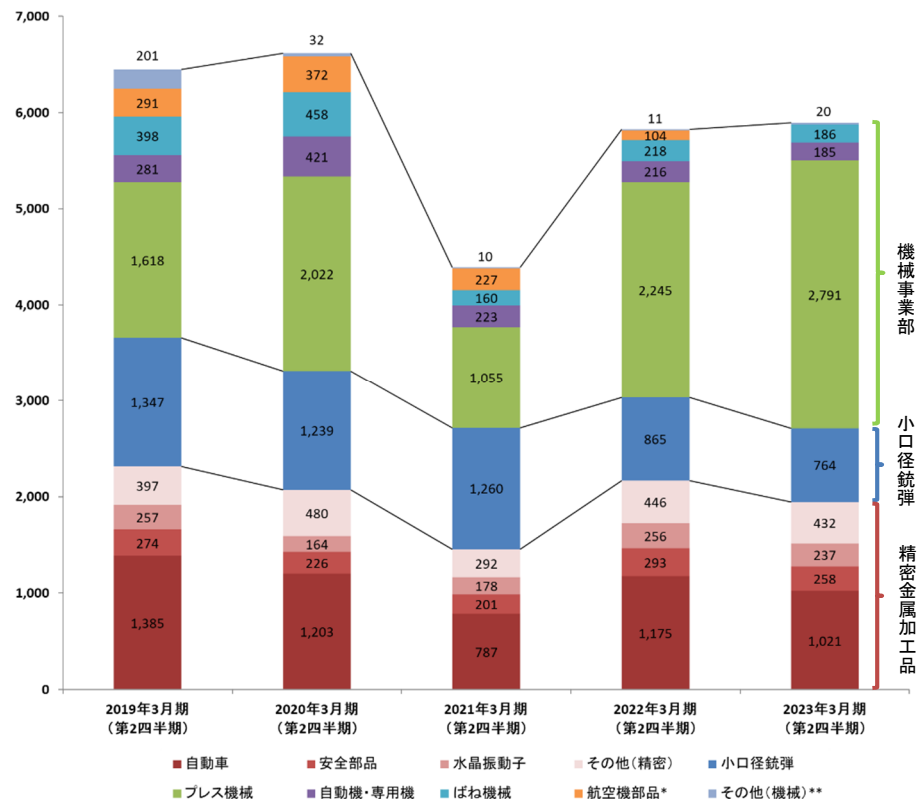
(単位:百万円)

	2019年3月期 (第2四半期)	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)	2022年3月期 (第2四半期)	2023年3月期 (第2四半期)	前年比
精密加工事業部	3,661	3,314	2,719	3,038	2,714	▲ 10.7%
精密金属加工品	2,314	2,074	1,459	2,172	1,949	▲ 10.3%
自動車	1,385	1,203	787	1,175	1,021	▲ 13.1%
安全部品	274	226	201	293	258	▲ 11.9%
水晶振動子	257	164	178	256	237	▲ 7.4%
その他(精密)	397	480	292	446	432	▲ 3.2%
小口径銃弾	1,347	1,239	1,260	865	764	▲ 11.7%
機械事業部	2,790	3,308	1,677	2,797	3,184	13.8%
プレス機械	1,618	2,022	1,055	2,245	2,791	24.3%
自動機・専用機	281	421	223	216	185	▲ 14.1%
ばね機械	398	458	160	218	186	▲ 14.6%
航空機部品*	291	372	227	104	-	-
その他(機械)**	201	32	10	11	20	▲ 82.7%
合計	6,452	6,622	4,397	5,835	5,898	1.1%

* 2023年3月期の航空機部品の売上金額につきましては、金額の重要性の観点からその他(機械)に組入れております。

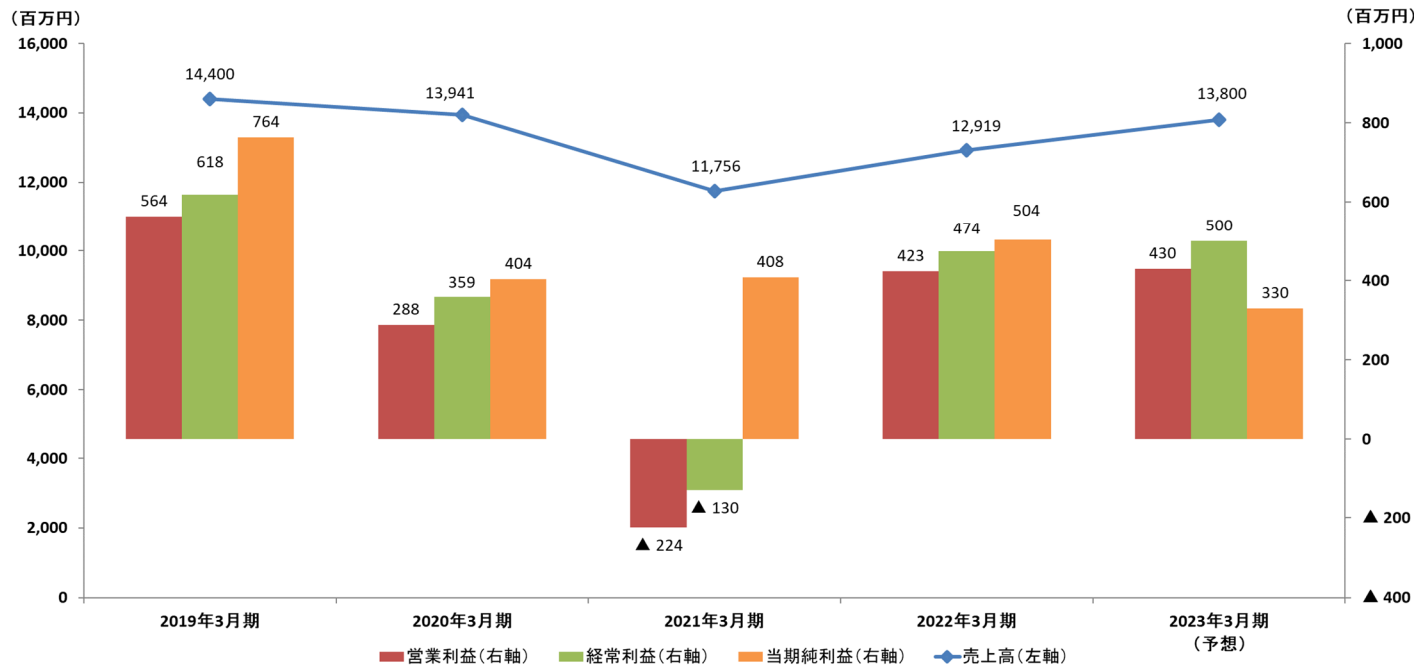
** 前年比の数値につきましては、2022年3月期における航空機部品及びその他(機械)の合計金額と対比させた結果を記載しております。

(百万円)



通期の売上高・利益推移及び予想

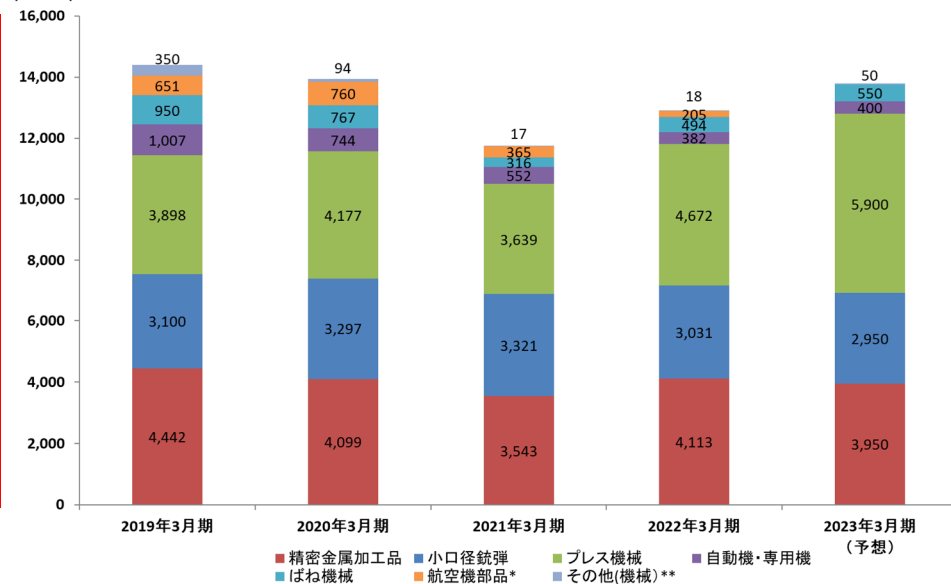
(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)
売上高	14,400	13,941	11,756	12,919	13,800
営業利益	564	288	▲ 224	423	430
経常利益	618	359	▲ 130	474	500
当期純利益	764	404	408	504	330
1株当たり 当期純利益	308円38銭	167円73銭	169円71銭	207円64銭	132円59銭



通期のセグメント別売上高推移及び予想

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)	前年比
精密加工事業部	7,542	7,397	6,865	7,145	6,900	▲ 3.4%
精密金属加工品	4,442	4,099	3,543	4,113	3,950	▲ 4.0%
小口径銃弾	3,100	3,297	3,321	3,031	2,950	▲ 2.7%
機械事業部	6,857	6,544	4,891	5,774	6,900	19.5%
プレス機械	3,898	4,177	3,639	4,672	5,900	26.3%
自動機・専用機	1,007	744	552	382	400	4.7%
ばね機械	950	767	316	494	550	11.3%
航空機部品*	651	760	365	205	-	-
その他(機械)**	350	94	17	18	50	▲ 77.6%
合計	14,400	13,941	11,756	12,919	13,800	6.8%

(百万円)



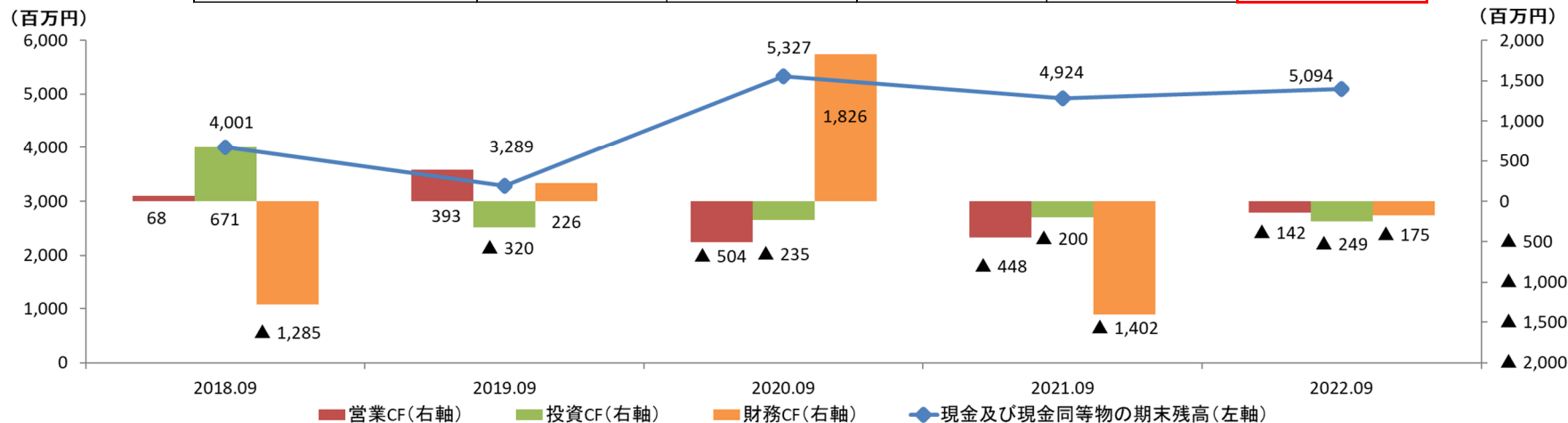
* 2023年3月期の航空機部品の売上金額につきましては、金額の重要性の観点からその他(機械)に組み入れております。

** 前年比の数値につきましては、2022年3月期における航空機部品及びその他(機械)の合計金額と対比させた結果を記載しております。

第2四半期のキャッシュ・フロー推移

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	68	393	▲ 504	▲ 448	▲ 142
投資活動によるキャッシュ・フロー	671	▲ 320	▲ 235	▲ 200	▲ 249
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,285	226	1,826	▲ 1,402	▲ 175
現金及び現金同等物の期末残高	4,001	3,289	5,327	4,924	5,094



キャッシュフロー状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は50億9千4百万円 前期末比 5億6千5百万円減少

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前期末より主に、売上債権の減少により7億4千6百万円増加及び減価償却費で3億3千8百万円計上したものの、棚卸資産の増加で13億2百万円減少。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前期末より主に、有形固定資産の取得により2億3千7百万円支出。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前期末より主に、配当金で1億7千3百万円支出。

財政状態の推移

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (第2四半期)
総資産	19,031	18,502	20,599	20,140	20,184
純資産	12,924	12,550	12,899	13,560	13,502
自己資本比率	67.9%	67.8%	62.6%	67.3%	66.9%
1株当たり純資産	5,358円83銭	5,207円56銭	5,353円44銭	5,448円11銭	5,424円83銭

資産、負債及び純資産の状況

(総資産) :201億8千4百万円、前期末比+4千3百万円

✓ 主に、受取手形及び売掛金が9億4千3百万円減少したものの、仕掛品が8億3千2百万円、製品が2億3千7百万円それぞれ増加。

(負債) :66億8千2百万円、前期末比+1億2百万円

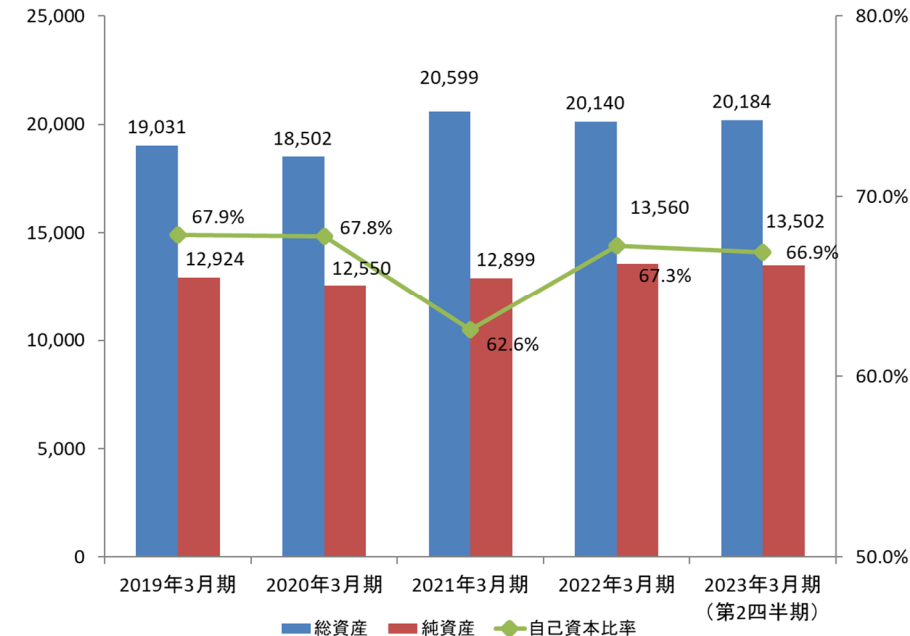
✓ 主に、未払法人税等が1億3百万円減少したものの、電子記録債務が1億2千1百万円増加。

(純資産) :135億2百万円、前期末比▲5千8百万円

✓ 主に、その他有価証券評価差額金が3千7百万円減少。

財政状態の推移

(百万円)



設備投資(工事ベース)・減価償却費の推移及び予想

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)
設備投資	1,487	995	599	374	843
減価償却費	771	814	818	783	710

Possibility

Technology opening up new possibilities



IRに関するお問い合わせ先
旭精機工業株式会社 経営企画・IR室
TEL:0561-52-5356

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。